

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成24年11月9日
【四半期会計期間】	第25期第2四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)
【会社名】	株式会社トラスト
【英訳名】	TRUST CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伊藤 誠英
【本店の所在の場所】	愛知県名古屋市中区錦三丁目10番32号
【電話番号】	052(219)9024 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 長谷川 克彦
【最寄りの連絡場所】	愛知県名古屋市中区錦三丁目10番32号
【電話番号】	052(219)9058
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 長谷川 克彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第24期 第2四半期連結累計期間	第25期 第2四半期連結累計期間	第24期
会計期間		自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高	(千円)	4,742,468	6,357,756	11,250,885
経常利益	(千円)	376,443	472,732	845,800
四半期(当期)純利益	(千円)	129,298	177,188	271,539
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	193,629	281,671	451,760
純資産額	(千円)	3,941,907	4,397,787	4,141,992
総資産額	(千円)	12,868,040	14,329,687	14,528,243
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	499.66	684.73	1,049.35
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	27.5	26.6	25.2
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	889,508	1,170,649	2,284,523
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	191,249	300,509	345,904
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	729,737	1,200,198	1,869,352
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	(千円)	823,916	592,633	922,568

回次		第24期 第2四半期連結会計期間	第25期 第2四半期連結会計期間
会計期間		自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	279.17	415.55

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金による個人消費の増加により、景気に緩やかな回復の兆しがみられたものの、長期化する円高や欧州債務危機などから先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループは、中核事業であり海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、国内で為替リスクなく安定的な成長を続けるレンタカー事業、成長著しい南アフリカにて海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定的で収益力のある事業体の構築を目指しております。また、レンタカー事業のレンタル車輦及び海外自動車ディーラー事業の中古車在庫を、中古車輸出事業のWEBサイトを通じて販売するなど、グループシナジーを創出しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高6,357百万円(前年同期比34.1%増)、営業利益508百万円(前年同期比27.8%増)、経常利益472百万円(前年同期比25.6%増)、四半期純利益177百万円(前年同期比37.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

中古車輸出事業

中古車輸出業界全体では、海外の旺盛な需要により輸出台数は好調に推移しております。利益面では、為替レートが円高水準で高止まりし収益を圧迫しているものの、エコカー補助金が再導入され9月に終了までの間は、新車販売が活況となり、下取り車の供給量が増加したことにより、仕入コストの抑制につながり、業界全体の景況感は回復しつつあります。

このような状況のなか、当社グループは、アフリカ地域において、沿岸主要港から内陸主要都市への中古車陸送を代行手配するサービス、また現地エージェントとの提携により対面でのアフターサービスを行うカスタマーサービスセンターを強化し、顧客満足度の向上に努めました。

当社グループの輸出台数は、オセアニア地域及び規制緩和のあった一部のアジア地域が増加し、その他地域においても堅調に推移したため、合計3,996台(前年同期比16.1%増)となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高2,313百万円(前年同期比13.8%増)、営業利益113百万円(前年同期比104.1%増)となりました。

レンタカー事業

レンタカー業界全体では、行楽シーズンが好天に恵まれたことにより個人需要が好調に推移し、また、レンタカー需要の高まりを受け事業者及び登録台数ともに増加しております。

このような状況のなか、当社グループは、WEBサイトのリニューアルにより予約機能を向上し、TVCMを継続的に放映することにより個人顧客の獲得に注力いたしました。また、直営店の蕨店(埼玉県)、関店(岐阜県)、FC店の甲斐店(山梨県)、小山喜沢店(栃木県)を新規出店し、直営店及びFC店の総店舗数は98店、総保有台数は9,996台(前年同期比14.6%増)となりました。さらに、車輦の販売台数は417台(前年同期比19.1%増)となり好調に推移いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高2,715百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益389百万円(前年同期比6.6%増)となりました。

海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国の新車販売台数は、旺盛な個人消費のもと2桁成長で推移しております。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国の首都プレトリア市においてブジョーディーラー1店舗、ヨハネスブルグ市においてスズキディーラー2店舗、ケープタウン市近郊においてフィアット・アルファロメオディーラー1店舗、スズキディーラー1店舗の合計5店舗を運営しております。新車販売台数は合計344台（前年同期比258.3%増、内訳：ブジョー82台、フィアット43台、アルファロメオ11台、スズキ208台）、中古車販売台数は合計595台（前年同期比391.7%増）と順調に推移しております。現在、親会社であり自動車ディーラー再生のノウハウを持つVTホールディングス株式会社の協力のもと、全店舗黒字化に向けて経営改善を行っております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高1,437百万円（前年同期比269.0%増）、営業利益6百万円（前年同期は23百万円の営業損失）となりました。

スズキディーラーを運営する、SKY ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDの前連結会計年度の連結対象期間は、平成23年10月1日から平成24年3月31日であります。

(2) 財政状態の分析

資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.0%減少し、6,495百万円となりました。これは、現金及び預金が329百万円減少したことなどによりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、7,833百万円となりました。これは、リース資産(純額)が17百万円増加したことなどによりです。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し、14,329百万円となりました。

負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.7%減少し、7,685百万円となりました。これは、短期借入金が127百万円減少したことなどによりです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて9.8%減少し、2,246百万円となりました。これは、長期借入金が133百万円、リース債務が96百万円減少したことなどによりです。

純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて6.2%増加し、4,397百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ329百万円減少し、592百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は1,170百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益471百万円、減価償却費932百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は300百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出275百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は1,200百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出885百万円があったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,000,000
計	1,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	281,500	281,500	東京証券取引所 (マザーズ)	株主としての権利内容に制限のない当 社における標準となる株式 (単元株制度を採用しておりません。)
計	281,500	281,500	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	281,500	-	1,349,000	-	1,174,800

(6)【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
VTホールディングス株式会社	愛知県東海市加木屋町陀々法師14 - 40	189,805	67.43
株式会社アーキッシュギャラリー	愛知県名古屋市中区錦三丁目10 - 32	14,635	5.20
森元日出男	埼玉県春日部市	1,800	0.64
宮本誠	東京都中央区	1,234	0.44
三木谷晴子	東京都渋谷区	1,225	0.43
篠田和幸	岐阜県大垣市	1,000	0.35
北野雅也	東京都板橋区	993	0.35
坂本博	福岡県飯塚市	931	0.33
吉岡裕之	大阪府東大阪市	901	0.32
奥津利彦	神奈川県小田原市	668	0.24
計	-	213,192	75.73

(注) 上記のほか当社所有の自己株式22,731株(8.07%)があります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 22,731	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 258,769	258,769	株主としての権利内容に制限のない当社における標準となる株式 (単元株制度を採用しておりません。)
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	281,500	-	-
総株主の議決権	-	258,769	-

(注)「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の失念株式が10株(議決権10個)含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数(株)	他人名義 所有株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社トラスト	愛知県名古屋市中区 錦三丁目10番32号	22,731	-	22,731	8.07
計	-	22,731	-	22,731	8.07

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人東海会計社により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	922,568	592,633
受取手形及び売掛金	814,387	820,391
リース債権及びリース投資資産	3,498,519	3,524,397
商品及び製品	994,671	975,190
仕掛品	507	1,410
原材料及び貯蔵品	12,352	12,940
その他	536,080	580,181
貸倒引当金	10,628	11,186
流動資産合計	6,768,459	6,495,960
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	3,320,258	3,337,613
土地	2,846,640	2,846,640
その他(純額)	890,132	961,708
有形固定資産合計	7,057,032	7,145,962
無形固定資産		
のれん	125,166	118,603
その他	112,876	109,889
無形固定資産合計	238,042	228,493
投資その他の資産		
その他	491,364	486,668
貸倒引当金	26,655	27,396
投資その他の資産合計	464,708	459,271
固定資産合計	7,759,784	7,833,727
資産合計	14,528,243	14,329,687
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	624,037	563,755
短期借入金	1,094,600	967,000
1年内返済予定の長期借入金	290,684	278,358
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
リース債務	4,967,111	5,081,924
未払法人税等	194,894	182,653
賞与引当金	63,367	59,073
資産除去債務	254	-
その他	631,345	522,684
流動負債合計	7,896,295	7,685,449
固定負債		
社債	80,000	65,000
長期借入金	395,976	262,560
リース債務	1,990,361	1,894,135
役員退職慰労引当金	4,616	5,426
資産除去債務	11,170	11,267
その他	7,831	8,062
固定負債合計	2,489,955	2,246,450
負債合計	10,386,251	9,931,900

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	1,752,958	1,904,269
自己株式	618,209	618,209
株主資本合計	3,658,549	3,809,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,243	4,218
為替換算調整勘定	663	4,679
その他の包括利益累計額合計	2,579	460
少数株主持分	480,863	588,387
純資産合計	4,141,992	4,397,787
負債純資産合計	14,528,243	14,329,687

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	4,742,468	6,357,756
売上原価	3,211,290	4,519,968
売上総利益	1,531,177	1,837,787
販売費及び一般管理費	1,133,040	1,328,895
営業利益	398,137	508,892
営業外収益		
受取利息	1,521	2,260
受取配当金	4,640	4,057
為替差益	4,678	-
貸倒引当金戻入額	9,111	-
補助金収入	-	26,211
その他	12,390	11,297
営業外収益合計	32,342	43,826
営業外費用		
支払利息	45,230	53,096
為替差損	-	16,793
その他	8,805	10,095
営業外費用合計	54,035	79,985
経常利益	376,443	472,732
特別利益		
助成金収入	2,693	2,661
貸倒引当金戻入額	2,784	231
特別利益合計	5,477	2,892
特別損失		
固定資産売却損	214	-
固定資産除却損	-	2,854
投資有価証券償還損	-	814
投資有価証券評価損	531	101
貸倒損失	527	-
その他	-	99
特別損失合計	1,273	3,868
税金等調整前四半期純利益	380,647	471,756
法人税、住民税及び事業税	140,833	181,024
法人税等調整額	31,325	2,363
法人税等合計	172,158	183,387
少数株主損益調整前四半期純利益	208,489	288,369
少数株主利益	79,190	111,180
四半期純利益	129,298	177,188

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	208,489	288,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,629	1,003
為替換算調整勘定	4,229	7,700
その他の包括利益合計	14,859	6,697
四半期包括利益	193,629	281,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,329	174,147
少数株主に係る四半期包括利益	78,300	107,523

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	380,647	471,756
減価償却費	747,654	932,669
のれん償却額	2,999	3,285
貸倒引当金の増減額(は減少)	22,743	1,298
賞与引当金の増減額(は減少)	8,334	4,294
受取利息及び受取配当金	6,162	6,317
支払利息	45,230	53,096
為替差損益(は益)	3,655	3,496
投資有価証券評価損益(は益)	531	101
投資有価証券償還損益(は益)	-	814
固定資産売却損益(は益)	214	-
固定資産除却損	-	2,854
売上債権の増減額(は増加)	8,201	17,530
たな卸資産の増減額(は増加)	85,592	3,013
その他の流動資産の増減額(は増加)	42,890	80,255
その他の固定資産の増減額(は増加)	28,213	10,865
仕入債務の増減額(は減少)	43,013	7,019
未払消費税等の増減額(は減少)	70,664	2,383
その他の流動負債の増減額(は減少)	58,480	64,457
その他	827	651
小計	1,151,781	1,424,532
利息及び配当金の受取額	7,035	6,704
利息の支払額	47,677	52,038
法人税等の支払額	221,631	208,549
営業活動によるキャッシュ・フロー	889,508	1,170,649
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	113,599	275,235
有形固定資産の売却による収入	8	221
無形固定資産の取得による支出	52,905	19,994
子会社株式の売却による収入	10,200	-
投資有価証券の償還による収入	-	6,117
貸付けによる支出	42,407	9,637
貸付金の回収による収入	9,245	10,873
敷金及び保証金の差入による支出	3,634	15,334
敷金及び保証金の回収による収入	3,241	2,910
その他	1,397	430
投資活動によるキャッシュ・フロー	191,249	300,509

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	85,989	127,600
長期借入れによる収入	50,000	-
長期借入金の返済による支出	188,142	145,742
社債の償還による支出	15,000	15,000
リース債務の返済による支出	642,572	885,940
配当金の支払額	25,940	25,916
少数株主からの払込みによる収入	5,928	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	729,737	1,200,198
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,218	124
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	32,697	329,934
現金及び現金同等物の期首残高	849,118	922,568
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	7,495	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	823,916	592,633

【会計方針の変更】

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる影響額は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費の主要な費用及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給与手当	504,795千円	582,616千円
賞与引当金繰入額	54,151	61,072
役員退職慰労引当金繰入額	739	809
貸倒引当金繰入額	409	1,031

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	823,916千円	592,633千円
現金及び現金同等物	823,916	592,633

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月10日 取締役会	普通株式	25,876	100	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月4日 取締役会	普通株式	25,876	100	平成23年9月30日	平成23年12月12日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月10日 取締役会	普通株式	25,876	100	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月2日 取締役会	普通株式	25,876	100	平成24年9月30日	平成24年12月12日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業(注)1			
売上高						
外部顧客への売上高	2,015,894	2,336,952	389,621	4,742,468	-	4,742,468
セグメント間の 内部売上高又は振替高	17,163	97,414	-	114,578	114,578	-
計	2,033,058	2,434,366	389,621	4,857,047	114,578	4,742,468
セグメント利益又は損失()	55,371	365,966	23,798	397,539	597	398,137

(注) 1 第1四半期連結会計期間より、子会社であるTRUST ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDを新たに連結の範囲に含めたため、海外自動車ディーラー事業が追加となりました。

2 セグメント利益又は損失の調整額597千円には、のれん償却額 2,999千円、棚卸資産の調整額3,597千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,311,019	2,626,170	1,420,566	6,357,756	-	6,357,756
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,487	89,590	17,041	109,119	109,119	-
計	2,313,506	2,715,761	1,437,608	6,466,875	109,119	6,357,756
セグメント利益	113,030	389,992	6,336	509,359	467	508,892

(注) 1 セグメント利益の調整額 467千円には、のれん償却額 3,285千円、棚卸資産の調整額2,585千円、その他の調整額231千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	499円66銭	684円73銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	129,298	177,188
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	129,298	177,188
普通株式の期中平均株式数(株)	258,769	258,769

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年11月2日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

配当金の総額 25,876千円

1株当たりの金額 100円

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成24年12月12日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月9日

株式会社トラスト
取締役会 御中

監査法人東海会計社

代表社員
業務執行社員 公認会計士 後藤久貴印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 大国光大印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社トラストの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社トラスト及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。